

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年一月度 入選句（投稿総数千八百五十六句・小中生投句数千二百七十一句）

特選

選者 白井 静子

通学路手にかかえてる 白い息 大垣市 大角 桃菜(小六)

二学期が始まり、通学班での登校が再開しました。寒の入り・大寒など、季節を表す言葉そのままでの寒さです。温かい息を手で受けて、そのままそっと持っていたい、そっと包み込むように持つていたい、という作者の願いが現われています。でも、大切なものは、目に見えませんが、どこかに消えてしまいます。だから余計に、今、手に抱えていることが大切になるのです。作者のやさしい心根が伝わるよい句です。

校庭に雪だるまいる 授業中 大垣市 木村 ひな胡(小五)

休み時間に作った雪だるま。大きいのも小さいのも、それぞれの表情をして立っています。校庭に雪だるまを残してきた作者は、雪だるまが寂しがっていないかと心配になったのでしょうか。授業を受けている間に溶けてしまわないかと心配になったのでしょうか。授業に身が入りません。早く休み時間にならないかな。また、雪だるまと遊びたいな。と、わくわくしている作者の気持ちがよく伝わってきます。

妹とお手つきだからけるた取り 大垣市 加藤 望愛(小三)

妹は何歳なのでしょう。かるた取りができるので、ひらがなは読めるのでしょうか。でも、どの札を取るタイミングにも、間違いばかり。それは、妹だけではありません。作者も、「えい！」と取るのですが、やっぱりお手つき。お手つきだらけでも、仲良く楽しく思い切りかるた取りをしていますね。

失敗しても笑って笑って楽しい思い出にしてしまう。不思議なお正月のかるた取りです。楽しい

秀逸

母さんと天体観そく冬の空 大垣市 奥野 龍聖(小六)

茶ばしらがたつてうれしい冬の夜 大垣市 藤井 仁志(小五)

雪合戦あたたつた雪をまたなげる 大垣市 市川 彩華(小五)

お正月何度も正座でごあいさつ 大垣市 豊田 礼麻(小三)

なわとびでとぶたびでてくるしろいき 大垣市 増田 美羽(小五)

冬の朝心もキリリと引きしまる 大垣市 西 凌平(小五)

年明けて気持ちあらたにすぶりする 大垣市 田中 亮成(小五)

青い空飛んでいるのは白いたこ 大垣市 森 結衣子(小五)

隙間風なんどしめてもあいちゃうな 大垣市 井上 奈菜未(小四)

おおみそかかぞくいっしょに年をこす 大垣市 石橋 唯斗(小四)

入選

冬の夜 家族 四人でねむる夜 大垣市 八木 春翔(小六)
 毛糸編む母さんの指 あたたかい 大垣市 阿部 愛聖(小五)
 冬 銀河また会えるかな 流星群 大垣市 大角 そうた(小五)
 雪だるま 明日もいっしょに遊ぼうね 大垣市 佐藤 虹希(小三)
 たこ上げて 私の馬が空を走る 大垣市 林 心菜(小三)
 おもちつき みんなで作るかがみもち 大垣市 堀家 菜々子(小三)
 友達の笑顔が浮かぶ 年がじょう 大垣市 林 真里奈(小五)
 あたたかな日ざしをあびてつばきさく 大垣市 清水 基晃(小五)
 初日の出 明るい光が街を照らす 大垣市 谷藤 史織(小五)
 年賀状 気持ちはつながる遠くても 大垣市 金谷 桃奈(小五)

入選

じよやのかね心と体ひきしまる 大垣市 佐藤 美琴(小五)
 かがみもち 上でみかんが気どってる 大垣市 白井 莉菜(小五)
 何度でも 集計してるお年玉 大垣市 吉田 悠(小六)
 年変わるそのしゅん間を写真とる 大垣市 武藤 亜実(小六)
 お年玉 今年も勝てないねえちゃんに 大垣市 安田 有輝(小三)
 雪道に 続く足あと 真っすぐに 大垣市 古田 晏寿(小四)
 かるたとり 次次手と手がとんでくる 大垣市 阿部 竜之介(小四)
 ガラスふきおねえちゃん は上ぼくは下 大垣市 川瀬 雄一郎(小二)
 お正月 幼いところのお世話する 大垣市 豊長 希月(小六)
 おもちつき 二人のいきがピツタリだ 大垣市 安田 篤司(小六)

選者吟

この家の味さまざまに 節料理

白井 静子